

2025年 高圧ガス保安法関係事故(容器の紛失・盗難を除く)

2025/12/31時点

事故概要

設備区分

業種

現象

物質名

軽傷

重傷

死者

市町村

事故区分

曜日

年月日

No

1	2025/01/06	月	製造・冷凍	岩国市	0	0	0	0	R22	噴出・漏えい	一般化学	冷凍設備	日常点検にて、冷凍設備の漏えい点検をリークチェッカーを用いて実施していたところ冷媒漏れを発見。翌日、機器製造メーカーにおいて冷媒を回収したところ、充填量30kgに対し、回収量34.6kgと15.4kgの漏えいが確認された。 圧縮機本体の中間冷却管と一緒に固定していたことで圧縮機本体の振動が直接伝わり、中間冷却銅管に疲労割れが生じたものと推定。
2	2025/02/04	火	その他	下松市	0	0	0	0	酸素	破裂・破損等 →火災	その他(一般 廃棄物処理 施設)	容器	一般廃棄物の処理工程にある破砕機において、ごみの中に混入していた10Lの酸素ガスボンベが破裂し、火災が生じたもの。人的被害はなかったが、運転に支障のない程度の破損が破砕機に生じた。
3	(発見) 2025/02/16	日	製造・コンビ	宇部市	0	0	0	0	一酸化炭素混 合ガス	噴出・漏えい	一般化学	配管、継 手、弁	地上7メートル付近を敷設されている高圧ガス導管から混合ガス(CO、H2)が漏えいたもの。配管支持部の塗装が剥がれた箇所 に、冷却塔から出たミストが降り注ぎ外面腐食したものと推定。
4	(発見) 2025/02/26	水	製造・コンビ	和木町	0	0	0	0	混合ガス(液 化石油ガス、 水素、炭化水 素ガス)	火災	石油精製	反応器	ナフサから水素反応によりガソリンなどの原料油を精製する反応塔(リアクター)の入口フランジから出火したもの。 高温下での使用によるフランジボルトの伸びやガスケットの応力の緩和によって、フランジの締付力が最小締付力を下回ったことで漏えいに至った。
5	2025/02/26	水	製造・コンビ	和木町	0	0	0	0	混合ガス(水 素、炭化水素 ガス)	噴出・漏えい	石油精製	附属設備	火災に伴う緊急停止措置により、安全弁3台が作動したものの、装置の緊急停止に伴う系統の瞬間的な圧力上昇に対して、調節弁の制御が追従せず安全弁の作動に至ったもの。
6	2025/03/17	月	製造・コンビ	和木町	0	0	0	0	水素、炭化水 素ガス	噴出・漏えい	石油精製	附属設備	自主計器として設置されている圧力計の本体カバーから、内部流 体である混合ガスが漏洩したもの。 混合ガス中の微量な腐食性ガス(塩素や硫化水素等)により、内部 からの腐食減肉が進行し、当該圧力計の腐食管理も行っていな かったことから開孔に至ったもの。
7	2025/03/29	土	製造・コンビ	宇部市	0	0	0	0	R407C	噴出・漏えい	一般化学	付属冷凍設 備	配管周辺にある圧縮機の振動によって、継手の応力集中部位に 疲労が蓄積し、亀裂が生じたことで冷媒が漏えいたもの。
8	(発見) 2025/04/08	火	移動・一般	周南市	0	0	0	0	水素	噴出・漏えい	運送	配管	事業所の車庫にて移動式製造設備の終了点検中に、ポータブル のガス検知器にて漏洩の有無を確認したところ圧力計取付部の継 手付近より漏えいを確認したものの、 当該漏えい配管周辺において、配管を固定するためのサポート が設置されていたにもかかわらず、振動による疲労破損が生じたものと 推定される。
9	2025/04/14	月	製造・冷凍	岩国市	0	0	0	0	R404A	噴出・漏えい	一般化学	冷凍設備	日常点検にて凝縮器冷媒液面低下を確認したため、リークチェッ カーを用いて調査したところ冷媒漏れを発見。 機器メーカーによる調査の結果、充填量50kgに対し、39.5kgを回 収。漏洩量10.5kgを確認。 据付時にトルク管理を行っていないことが原因と推定されたため、 振動時の振動によ り緩みが生じ、フレア式接続部から漏えいが発生したと推定。

事故概要

設備区分

業種

現象

物質名

軽傷

重傷

死者

市町村

事故区分

曜日

年月日

No

10	2025/04/17	木	製造・一般	宇都市	0	0	0	0	R-407C	噴出・漏えい	一般化学	付風冷凍設備	DF-6チラーユニットの年次点検として、安全装置である高圧カットの作動検査を実施していたところ可溶性作動し、機器内のフロン(R-407C)が漏えいしたものの。
11	2025/04/21	月	製造・液石	和木町	0	0	0	0	プロパン	噴出・漏えい	その他(液化石油ガス製造施設)	配管、継手、弁	タンク付近のガス警報器が作動し現場に向かった所、受入ゴムホースに亀裂が入りガスが漏洩したものの。 亀裂部付近は使用後に曲げて収納する部分であり、負荷がかかっていた状態であったため、ゴムホースの劣化が早まり、ひび割れ部に亀裂が入ったと推定。
12	(発見) 2025/04/24	木	製造・一般	光市	0	0	0	0	酸素	噴出・漏えい	その他(病院)	継手	定期自主検査の気密試験時に、CE送液ラインの蒸発器入口配管口周付部から漏洩していることを発見した。 液化酸素送液時の温度と常温時の温度差により、溶接線が劣化していたものと推定。
13	2025/04/24	木	製造・コンビ	周南市	0	0	0	0	LPG	噴出・漏えい	石油精製	塔槽類	凝縮器のシェル本体下部のピンホールからLPGの漏えいを確認したものの。 露点管理不十分に起因したLPG中に含まれる水分が、肉盛補修境界溝部において滞留、凝縮、塩化物の溶け込みにより塩酸を生成したこと減肉が進行し開孔に至ったものと推定。
14	2025/04/28	月	製造・コンビ	周南市	0	0	0	0	エチレン	噴出・漏えい	一般化学	配管、継手、弁	反応器内で分解反応が発生し、破裂板が作動したものの。 誤操作により反応器出口の圧力調節弁が閉めきり状態になったことで、反応器内で分解反応が発生し、発火に至った。
15	2025/05/19	月	製造・一般	山陽小野田市	0	0	0	0	酸素	噴出・漏えい	一般化学	ポンプ	保安検査における総合気密試験を実施していたところ、貯槽とポンプの間にあるフレキシ短管から酸素が漏えいしていたものの。 施設が設置されて以降、当該短管は取替えが行われていなかった。
16	2025/05/20	火	製造・コンビ	和木町	0	0	0	0	混合ガス(水素、炭化水素)	噴出・漏えい	石油精製	附属設備	圧縮機の起動操作に伴う負荷調整時の誤操作により、系内圧力が上昇して安全弁が一時的に作動したものの。
17	2025/06/03	火	消費・一般	周南市	0	0	0	1	アセチレン	火災	一般化学	配管	施設の改修作業のためアセチレンガスによるガス切断中、緩んだガストレーチチューブ部からアセチレンガスが漏れ、何らかの原因によりガスに引火し、作業員1名が負傷したものの。
18	(発見) 2025/06/12	木	製造・一般	宇都市	0	0	0	0	酸素	噴出・漏えい	一般化学	配管	定期自主検査中、No.2酸素カードル充填配管(分析用ライン配管)のピンホールから酸素が漏えいしたものの。
19	2025/06/17	火	製造・コンビ	和木町	0	0	0	0	プロピレン	噴出・漏えい	石油精製	容器	サンプリング採取のため、ポンプを起動し、サンプリングホース(フレキ)をポンベに接続して充填を行っていたところ、圧力監視が不十分であったため、ポンベの安全弁が作動したものの。
20	2025/06/17	火	製造・コンビ	和木町	0	0	0	0	混合ガス(水素、炭化水素)	噴出・漏えい	石油精製	塔槽類	熱交換器のベント部から混合ガスの間欠的な漏えいを確認したものの。 熱交換器のチューブ内面において腐食による減肉が進行して開孔に至ったものと推定。
21	2025/07/18	金	製造・冷凍	下関市	0	0	0	0	R407C	噴出・漏えい	一般化学	冷凍設備	クリンルーム内で空調機故障のアラームを受信し、作業者がチラーの圧力が0になっていることを発見したものの。 チラーの熱交換器損傷により、フロンが外部に放出されたものの。

No	年月日	曜日	事故区分	市町村	死者	重傷	軽傷	物質名	現象	業種	設備区分	事故概要
22	2025/07/29	火	製造・冷凍	宇部市	0	0	0	R404A	噴出・漏えい	一般化学	冷凍設備	当該冷凍機が低圧カットにて運転を停止し、冷媒充填量28 kgに 対して、漏洩量23kgを確認したものの、更新時期を超過していたチラーの凝縮器チューブが工業 用水により腐食し破孔に至ったもの。
23	2025/08/02	土	移動・一般	周南市	0	0	0	水素	噴出・漏えい	運送	配管	保安検査における気密試験の際に操作室内のガス検知を行った ところ、圧力計裏側付近にてガス検知器が発報したもの。 当該漏えい配管周辺において、配管を固定するためのサポート が設置されていたため、振動による疲労破壊が生じたものと 推定される。
24	2025/08/08	金	製造・コンビ	周南市	0	0	0	ナフサ	火災	石油化学	配管、接 手、弁	事業所従業員が現場を巡回中にエチレン製造装置分解炉の火災 を覚知したもの。 運転中に断熱材サポート板と接触したこと局所的な引張応力が 発生し、圧力計取出し配管が応力腐食割れに至ったものと推定。
25	2025/09/01	月	製造・冷凍	山陽小 野田市	0	0	0	R-513A	噴出・漏えい	一般化学	冷凍設備	圧縮機コイル温度異常が発生し、保温取外しにてフランジ部から の微量漏れを発見したもの。 冷媒を回収した結果、漏洩量は9.0kg(全冷媒量70.0kg)
26	2025/09/02	火	製造・一般	岩国市	0	0	0	窒素	噴出・漏えい	運送	配管	移動式製造施設において、加圧器出口から気相締切弁までの配 管の屈曲部2箇所から漏えいを確認したもの。 走行時に大きい振動が加わり、疲労限界を超える繰り返しの曲げ 応力により割れが発生したものと推定
27	2025/09/03	水	製造・冷凍	山陽小 野田市	0	0	0	R134a	噴出・漏えい	一般化学	冷凍設備	空気側熱交換器のチューブにクラックが発生し、充填されていた冷 媒全量38.0kgが大気中に放出されたもの。
28	2025/09/10	水	製造・一般	山陽小 野田市	0	0	0	水素	噴出・漏えい	一般化学	配管	水素ボンベの交換を実施した後、容器の継ぎ手部から水素の漏 えいが生じたもの。
29	2025/09/20	土	製造・コンビ	周南市	0	0	0	C4(ブタン、ブ チレン)	噴出・漏えい	石油化学	配管、弁	IPソルベント製造装置のスタートアップ操作においてPB-V814(酸 洗浄槽)、V815(アルカリ洗浄槽)、V816(水洗浄槽)(以下、水洗系 と記す。)へのC4送液による不活性ガスの除去を行っていた。水洗 系へ送液する流量が低下した為、入口の調節弁をさらに開けたとこ ろ、水洗系の圧力が上昇し安全弁が3台作動したものの。
30	2025/10/08	水	製造・コンビ	和木町	0	0	0	液化石油ガス	噴出・漏えい	石油精製	附属設備	液化石油ガスのサンプル採取のため、フレキシブルチューブを高 圧ガスボンベに接続し通液を行った際、フレキシブルチューブ本体 から漏えいが覚知されたもの。 液化石油ガスに含まれる硫化水素ガスにより、チューブ内面に硫 酸が生成され、溶接部で内面腐食が進行したものと推定。
31	2025/10/16	木	製造・冷凍	宇部市	0	0	0	R-404A	噴出・漏えい	一般化学	冷凍設備	低圧遮断装置が作動し、チラー水流量の低下等を確認したもの。 メーカ一点検の結果、蒸発器に漏れがあったと判断した。 チラー水側へ漏れ込んだと判断した。 蒸発器内部に堆積した錆により局部腐食が進行し、チューブが開 孔に至った可能性が高いと考えられる。
32	2025/12/15	月	製造・コンビ	周南市	0	0	0	エチレン	噴出・漏えい	一般化学	附属設備	反応器内で分解反応が発生し、安全装置(破裂板)が作動したも の。